

Port of Hachinohe

No. 1
JUNE 2001

---Maritime & Trade Report---

- 「海の祭典」八戸で夏に開催
- コンテナ共同輸送サービス
- 八戸市海外経済協力員レポート（香港・タコマ・マニラ）
- 青果物等貿易促進補助金
- TRADELINE（企業紹介）～(有)ジャブ～
- 八戸輸入住宅促進協議会ニューズレター

八戸港八太郎2号ふ頭 多目的国際物流ターミナル供用開始

八太郎2号ふ頭の多目的国際物流ターミナルの供用が始まりました。

4月25日に行われた竣工記念式典には関係者約200人が出席。安全祈願を行った後、テープカット、くす球割りを行い、同ターミナルの竣工を祝いました。

式典では、秋元恵一国土交通省東北地方整備局副局長が「同ターミナルの完成により、八戸港が北東北の物流拠点としてさらに発展することが期待される」と祝辞を述べました。

また、当日午前7時30分に韓国航路を運航する南星海運株の「BOHAI STAR」号が同ターミナルへ初入港。船内での入港歓迎式典も同時に行われました。

東北で最初に国際コンテナ航路を開設した八戸港では、コンテナ取扱量の急増とともにコンテナヤードの狭隘化が問題となっていました。

この度八太郎2号ふ頭に完成した多目的国際物流ターミナルは、狭隘化解消のため44,700㎡分の蔵置スペースを確保したほか、新規ガントリークレーンも同時に供用が開始され、コンテナ取扱い機能が大幅に強化されました。

また、同ターミナルは北東北初の指定保税地域に指定されたため税関手続きの処理が迅速化されるほか、今年度中には八太郎1号ふ頭のガントリークレーンも同ターミナルに移設される予定で、更なる荷役作業の効率化が図られます。

ターミナル施設概要（八太郎2号ふ頭）

- ・岸壁：水深-13m、バース延長260m
- ・ガントリークレーン：1基（吊上荷重48.4t吊）
- ・コンテナヤード：面積:44,700㎡、蔵置能力:985TEU
- ・リーファーコンセント：50個（440V・220V対応）
 - ・管理棟：1棟（事務室）
 - ・検査棟：1棟（税関検査）
 - ・ゲート棟：1棟（コンテナ受け渡し）
- ・船舶荷役：通年業務（特定休日7日間以外）
- ・国際物流ターミナル：1棟（荷捌保管施設5倉、流通加工施設5倉）
- ・くん蒸施設：1棟（40Fコンテナ対応くん蒸室・2倉）





中里信男



橋本昭一

八戸港情報誌 Port of Hachinohe — Maritime & Trade Report — 発行にあたって

八戸港の振興ならびに貿易促進につきましては、日頃から皆様のご指導をいただき、厚く御礼申し上げます。

八戸港国際物流拠点化推進協議会と㈱八戸港貿易センターは、八戸港の物流・商流をはじめ八戸港に関する様々な出来事やニュースをお伝えするため、情報誌「Port of Hachinohe -Maritime & Trade Report-」を発行する運びとなりました。

これは、従来別々に発行していた八戸港国際物流拠点化推進協議会の「八戸マリタイムレポート」と㈱八戸港貿易センターの「ポータル」を統合し、一体的な港湾・貿易情報の提供を目指すものです。

私どもの活動のほか、八戸港ならびに貿易ビジネスについて、皆様から一層のご理解をいただけるよう、誌面の充実に努めてまいりたいと考えております。

現在、八戸港では国内外4本のコンテナ航路が開設され、おかげさまでもちまして、ご利用いただく企業や品目は年々拡大しておりますが、引き続き八戸港の整備促進ならびに同港を通じた貿易支援に努めてまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八戸港国際物流拠点化推進協議会 会長 八戸市長 中里信男
株式会社八戸港貿易センター 代表取締役 橋本昭一

第16回「海の祭典」あおもり2001開催迫る！

「豊かな未来 人と海」をテーマに第16回「海の祭典」が2001年7月20日から29日の日程で青森県において開催されます。

「海の祭典」は、国民の海に対する関心を喚起することを目的とした祭典で、全国の主要港湾都市で1986年から毎年持ち回りで開催されてきました。

今年開催される「海の祭典」では、青森地区（青森港）が主会場、八戸地区（八戸港）が副会場、鯨ヶ沢地区（七里長浜港）、六ヶ所地区（むつ小川原港）が地方会場となっており、副会場の八戸地区（八戸港）では、みなとのシンポジウム、ハチノヘ・マリン・フェスティバル、海上保安庁音楽隊コンサート、船舶・帆船フェア、パネル展などが八戸港ポートアイランドを中心に開催されます。



八戸地区開催イベント

第16回「海の祭典」八戸地区実行委員会事務局
TEL0178-43-2111（八戸市建設部港湾河川課内）

「みなとのシンポジウム」

日時：7/27(金) 13:30～16:30

場所：八戸グランドホテル（入場無料）

第1部：子どもシンポジウム

テーマ「こんな港だったらいいな」

第2部：記念講演

（社）日本船長協会 会長 澤山恵一 氏

演題「世界のみなとの四方山話」

第3部：パネルディスカッション

テーマ「魅力ある美しいみなとまちづくりに向けて」

「鮫角灯台一般公開」(日本の灯台50選)

日時：7/20(金)～22(日)、7/28(土)・29(日) (9:00～16:00)

場所：鮫角灯台（入場無料）

「海上保安庁音楽隊コンサート」

日時：7/21(土) 16:00～17:30

場所：八戸市公民館（入場無料）

○海をテーマにした曲の演奏

「客船ふじ丸市民クルーズ・一般公開」

場所：ポートアイランド

後援：八戸市

7/23(月) 14:00～16:00 一般公開

7/23(月) 日没～イルミネーション点灯

7/24(火) 9:25～市民クルーズ歓送セレモニー

7/24(火) 10:00～7/25(水)12:00 市民クルーズ

市民クルーズ(八戸～横浜)の申込先は下記まで

JTB八戸支店【TEL0178-44-2111】

近畿日本ツーリスト八戸支店【TEL0178-43-3211】

東急観光八戸支店【TEL0178-43-3720】



「八戸港内クルーズ」

日時：7/28(土)・29(日) 9:20～16:50

場所：八戸港観光遊覧船発着所

コース：鮫漁港～八戸港内周遊～鮫漁港

所要時間：約40分

料金：大人500円 小人無料(大人1名につき2名まで)

〈通常、大人1000円、小人500円〉

問い合わせ先：(有)八戸通船【TEL0178-33-3430】

「ハチノヘ・マリン・フェスティバル」

日時：7/28(土)・29(日) 10:00～17:00

場所：ポートアイランド特設会場

○ワールドバザール

○ワールドグルメツアー

○ワールドステージ

○三陸海の観光物産展

○広域市町村物産展

○フリーマーケット

○各種展示ブース

(八戸港PR、海事官公署PRほか)

「日本の灯台・日本の渚パネル展」

「帆船・漁船模型展」

日時：7/20(金)～26(木)9:00～18:00 (7/23除く)

場所：八戸市公民館（入場無料）

「船舶・帆船フェア」

(ポートアイランド)

帆船「バラダ」

7/22(日)、7/28(土)・29(日)一般公開(予定)

帆船「ナジェージュダ」

7/22(日)・23(月)一般公開(予定)

帆船「あこがれ」

7/24(火)～27(金) 航海型セイルトレーニング(青森～八戸)

7/28(土) 9:00～12:00 セイルドリル(展帆・公開・昼帆)

7/28(土) 13:00～16:00 一般公開

7/29(日) 9:00～14:00 1日セイルトレーニング(八戸海洋少年団)

8/1(水)～8/4(土) 航海型セイルトレーニング(八戸～小名浜)

(問い合わせ先)セイル大阪 TEL 06-6615-5383

測量船「海洋」

7/21(土)・22(日) 一般公開

巡視船「あぶくま」

7/21(土) 10:00～11:30、13:30～15:00 体験航海(申込者のみ)

練習船「北斗丸」

7/28(土)・29(日) 一般公開

水産高校実習船「青森丸」

7/28(土)・29(日) 一般公開

(白銀ふ頭)

護衛艦「ゆうぎり」

7/21(土)・22(日) 体験航海(申込者のみ)・一般公開

主催：八戸港海の日行事協賛会事務局【TEL0178-29-3111】

巡視船「しもきた」

7/28(土)・29(日) 一般公開

測定船「つしま」

7/28(土)・29(日) 一般公開

注…入港の中止または、公開時間の変更が行なわれることがあります。

無料シャトルバス運行

ハチノヘ・マリン・フェスティバル開催の7/28(土)・29(日)は9:00～18:00の予定でシャトルバスを運行します。

①フェスティバル会場行き：八戸市庁 ⇄ 本八戸駅 ⇄ ポートアイランド特設会場

②シーサイドバス：ポートアイランド ⇄ 湊ふるさとフェスティバル会場(ウォッサン前) ⇄

はちのへ魚まつり会場(水産会館前) ⇄ 八戸港観光遊覧船発着所 ⇄ マリエント ⇄ 鮫角灯台

「くん蒸補助金制度」実施中

～5万円の補助を行います～

八戸港では99年度から全国に先駆けて「青果物等貿易促進補助金制度」を創設しました。この制度は植物検疫対象品目のコンテナ貨物で、くん蒸が必要となった場合に、くん蒸上屋1室1回の利用につき5万円を補助するものです。

今年3月までの2年間で28件の申請があり、たまねぎ約340トンの他、原木、牧草、ビール粕、稲わら、りんご、大豆、球根、にんじんが輸入されています。

〈お問い合わせ先〉八戸市建設部港湾河川課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会
TEL 0178-43-2111 (内線338)



八太郎2号ふ頭に低温倉庫が完成

大豆、野菜などの保存が可能に！

八戸港国際物流拠点化推進協議会の会員である八戸港湾運送(株)は、太子食品工業株の大豆輸入に対応するため八太郎2号ふ頭に低温保管用倉庫を建設しました。

完成した低温倉庫は零度から18度までの温度設定が可能で、野菜などの保管も可能となりました。

5月30日に行なわれた初荷式では関係者によるテープカットが行なわれ、北米からの輸入大豆120トンが初搬入されました。

八戸港では昨年11月より太子食品工業株が八戸港に就航している北米航路を利用して、北米からの大豆の輸入を始めていましたが、温暖期の保管には低温倉庫が必要となっていました。低温倉庫完成により、同社は今後、中国産大豆に関しても八戸港利用にシフトしていく予定で、コンテナ貨物取扱の増大が期待されます。



青森県薬剤師会衛生検査センター 命令検査機関に指定！

～食品輸入検査がより迅速に～

社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター（青森市：TEL017-742-8825）がこの度、厚生労働省から命令検査の検査機関として指定を受けました。

食品を輸入する場合は、必要に応じ荷主が自主的に検査を実施する「自主検査」や検疫所が強制的に指示する「命令検査」を行わなければなりません。

しかし八戸港においては命令検査の全てを行える機関が無かったため、従来は仙台から業者を呼び寄せて行っていました。

北東北で唯一の指定検査機関として認可を受けた同センターは、従来から自主検査を含めた食品に関する幅広い検査業務を行っており、今後、同センターの利用によりサンプリングの迅速な対応、検査料の低減、検査日数の短縮、検査結果への助言等のメリットが生じ、輸入手続などが円滑に行われることが期待されます。



八戸港コンテナ共同輸送サービスを継続実施

(略称CSS: Container Support Service)

㈱八戸港貿易センターでは、2000年度の「共同輸送」調査及びトライアル輸送の実施結果を踏まえて、今年度新たに共同輸送サービスをスタートさせました。

昨年度は八戸市の委託事業として実施しましたが、今年度

は昨年のノウハウを生かしながら同センターの単独事業として行うものです。

複数の荷主から小口貨物を取りまとめ、1本のコンテナで「共同輸送」という新たな国際物流サービスにより、八戸港における小口貨物の集荷拡大策として、関係者から期待されています。

同社専務取締役の島守は、「八戸港を通じた商流・物流拡大による地域振興は、第3セクターとしての当社の重要な使命」と認識。企業として採算性を考慮しなければならないことから、「八戸港独自のこの共同輸送サービスを継続していくには、小口貨物の発掘・拡大が不可欠であり、企業に参加を呼びかけていきたい」と地元企業へのPRとともに、多くの企業の参加・利用に期待を寄せています。



平成13年度CSSのご案内

利用航路: WSL北米航路直行便(北東北で唯一就航)は毎回実施対象

(他航路は条件を満たす場合に随時実施)

WSL: Westwood Shipping Lines (www.wsl.com)

実施条件: 参加企業2社以上、平均積載率は50%以上(容積ベース)

貨物: 原則として、保冷、危険物など国内法令許認可を要する貨物は対象外

輸送: 20ftまたは40ftのドライコンテナ使用

料金: シアトル、バンクーバーから¥20,000~¥25,000/m³

※株主、八戸港FAZメンバーズ、八戸輸入住宅促進協議会会員等は優遇料金となります。

(料金に含まれる費用項目) 海上運賃、海上保険料、通関諸掛、保管料、ショートドレイ、OLT申請料

(料金に含まれない費用項目) 関税、消費税、現地シッパーへの支払手数料、国内配送料、その他個別費用

CSSサービス情報: 電子メールやFAX等でお知らせします。メーリングリストによる情報提供も予定。

お問い合わせ・お申込は、㈱八戸港貿易センター TEL0178-72-1505 FAX0178-72-1503

C.S.S.No.01-05北米航路直航便(WSL)

シアトル7月21日発 → バンクーバー7月24日発 → 八戸港8月7日着

C.S.S.No.01-06北米航路直航便(WSL)

シアトル8月18日発 → バンクーバー8月21日発 → 八戸港9月4日着

TRADELINE (企業紹介)

——地域の貿易企業・ビジネス情報をお届けします——

(有)ジャヴ (八戸市)

98年に設立された(有)ジャヴ(八戸市諏訪一丁目 TEL 0178-72-3511)は、ミャンマー(旧ビルマ)産チーク材を使用した家具や、準チーク材(ピンマ)を使用した3坪からの多目的コテージ、ガーデニング用の枕木等を輸入販売している会社です。

ミャンマー産のチーク材は、樹齢300年以上で木目が美しく耐久性に優れており、寒暖変化や湿気にも強い建材です。同社の製品は八戸市小中野の展示場で販売されています。

また、同社はミャンマーを単なる貿易相手国ということだけでなく、「ミャンマーにどのような貢献ができるだろう」と、八戸市の関内内科クリニックと協力して同国に対する医療器具の寄贈も行いました。

去る5月19日、20日には、八戸市のショッピングセンター「ラピア」において「ミャンマーチャリティー民芸展」が開催され、その展示会にも同社が協力しました。石橋社長は「ミャンマーの素晴らしさを八戸の皆さんに伝えたい」と話しています。



(参考) ミャンマーの雑貨類は下記のお店で取り扱っていますので、ぜひ一度お立ち寄り下さい!

「みんがらば」八戸市内丸一丁目5-22 TEL 0178-24-5199 (ミャンマー語で「こんにちは」の意味)

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2001年6月現在、海外在住（タコマ、香港、マニラ、バンコク、シンガポール、ブリスベン）の6名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂くことになっています。

また八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていますので、ご希望の方は八戸市建設部港湾河川課（TEL0178-43-2111）までご連絡ください。

REPORT 1

タコマの紹介

Tacoma



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所（米国ワシントン州）
マネージャー ゲーリー・ブラケット さん

タコマについては大きく2つの事が起こっております。1つは、タコマ港の継続的發展とインフラの整備で、もう1つはハイテク企業の進出とそれがもたらす中心街の發展です。

2000年上半期で、タコマ港は64万3,000TEUのコンテナを扱い、タコマ港の目標である100万TEUの取扱に向け、順調に取扱個数を伸ばしています。この7%の増加は主に現代商船のワシントン・ユナイテッド・ターミナルでの活動によりもたらされたもので、コンテナ積みはタコマ港全体事業の65%に達しており、1,910万ドルの収入になりました。

99年5月からタコマ港で業務を開始した現代商船は、60エーカーのワシントン・ユナイテッド・ターミナルを使用していますが、ターミナル活動のためにさらに20エーカーを要求しました。この要求によりブラム・クリーク木材会社の木材輸出オペレーション部門はオリンピア港へ移らなければならなくなりました。しかしながらこの現代商船のオペレーション活動拡大は、ブラム・クリークが撤退した分を差し引いても100人以上の雇用を生み出しています。

タコマは「アメリカで最もケーブル化された都市」として売り出していますが、この背景にはタコマ市による1億ドルにおよぶ「クリック！ネットワーク」と名付けられたケーブルシステムへの投資があります。このタコマ市の投資により、ケーブルシステムはタコマ市全体の98%を網羅し、民間電気通信企業に競争力をもたらしました。この結果、本来ならば最も近代的なインフラ設備建設からは疎外されるような中規模の市に、電気通信に競争力がある環境がもたらされたのです。また、通

信手段の増加によりタコマに100に上るハイテク企業の開業、他地域からの移転、支店設立が進みました。

ハイテク企業の進出により中心街の發展が望まれるところですが、タコマでは現在、官民両方による中心街開發が行なわれています。これらの事業すべてをここでご紹介できないので、今回は中心街の近代化を目的として行なわれている公共事業計画の一部についてご紹介します。

公共事業を行うにあたっては多額の財源を必要とするので、タコマ市とタコマ教育委員会は投資債券の発行を行うことで合意しました。内容はタコマ市が7,200万ドル、タコマ教育委員会が4億2,500万ドルの債券を6年にわたって発行するというものです。

債券発行により、タコマ市は警察署の新設、タコマドームの修築、商業地区近郊の再編、ハイテク訓練センターの建設を、タコマ教育委員会は学校の再建設、移転、擴張の他に小学校と中学校の新設を行なう予定です。

債券発行のためには、既にワシントン州で最も高率の税金を支払っている有権者から同意を得なければなりません。全体としてタコマは1880年代から1890年代に始まり現在に至るタコマの歴史の中で、今が最も光り輝いている時期にあると言えるでしょう。

REPORT 2

香港の紹介

Hongkong



読売香港公司 広告営業主任 今 寿美子さん

今回は香港、香港から中国復帰後の変化の一つである母国語（広東語）教育政策について簡単にご紹介したいと思います。

150年にわたるイギリス統治の下、香港の公用語は英語でした。教育言語もちろん英語が使用されていました。それが、97年7月の中国復帰を機に、香港政庁が強力に母国語教育を推進し、98年から実施されていますが、教師、生徒、父母にはきわめて不評です。

香港では、小学校の大部分は母国語である広東語で授業がすすめられていますが、中学校に進学する際一斉試験があり、その成績によって振り分けられます。中学校は大きく分けて、英語で授業する英文中学、広東語で授業する中文中学があり、98年6月までは、英文と中文の比率が350：70で英文中学が主流でした。中文中学は、一部の名門校を除き、落ちこぼれが行く学校とみなされてきました。母国語教育政策後、この比率が逆転し、英文中学が極端に減少したため、受験競争が一層激化しました。

「母国語である中国語で教育を受けた方が、生徒の理解度、思考力、創造力を高め、中国人であるアイデンティティを高める意味でも有利である」というのが教育省のねらいですが、実際、進学、就職、ビジネスの場面では常に英語の能力が問われます。

母国語教育の推進と同時に英語教育の強化も図っていますが、ある教育機関が99年に行った調査によると、学生の英語のレベルが低下し、中国語の読解力も台湾や中国の学生に及ばないどころかつかずの状態です。それにもかかわらず、中国の共通語である普通語の科目も新設し、両文（英文、中文）三語（英語、広東語、普通語）のレベルアップを推奨しています。

日本以上に中、高、大学受験が厳しい香港ですが、アジアの国際ビジネスセンターとして競争力を維持するためには、常に高い要求に応じて行かなくてはならないのでしょう。

ピンでは世界各国を騒がせたコンピューターウィルス事件や、大統領弾劾裁判、ミンダナオ島を拠点としたテロ活動及びマニラ市内爆弾テロ事件等、数々の記憶新しいものばかりだと思います。こんな環境でするので市内各所の警戒体制は厳しく、日本国からは危険地域指定、危険度1が出されています。

今回の報告に関しては、私達の抱える問題でもあるマニラにおける中小企業の労働問題について報告したいと思います。労働問題と聞けばすごい問題のように思われがちですが、大それた事ではなく、当社の抱える些細な問題や、日本から進出している同業者の方々の話を簡単に紹介いたします。

- ① 労働賃金の問題（最低賃金未払い・時間超過未払い・昇給等）
- ② 労働環境の問題（不衛生・就労時間の不特定等）
- ③ 出勤率及び離職率の問題（引き抜き・少しでも高い給与を求めた退職者等）
- ④ 過激労働組合の存在

上記のように戦後間もない日本が抱えたような問題が大半を占めます。この問題に対し各企業は色んな対応をしておりますが、私達が最も不得意とする所では③の対応方法です。日本にいたるとさほど気に留めた事も有りませんでした。海外では当り前のように転職して行きます。

私達の業務は精密機器の組立・製造・検査（目視・試験）が中心ですが、当然、最新機械を設置し、日本及び東南アジア諸国での実習作業を行わせております。ここまでは日本でも同じ事をしますが、戻って来てからが違います。基本的に実習した技術は、自分の習得技術であり、同じ部門の友人にさえ教え合おうと致しません。こればかりではありません。この実習が個人の履歴書でのアピール項目となりますので、同一業種の給与差がある企業へ知らぬ間に試験・面接に行ってしまう。

特に経験が豊かになってから人材が転職するケースは、各社頭を悩ませ、同一企業団地内での協定等を結んだりしておりますが、日系企業の関係者からは切ない問題として上げられております。

この様な事を予測して私達は基本ルールを会社内に設けておりますが、なかなか厳しく、大手企業のようにスムーズにいかないのが現状です。

フィリピンはまだまだ発展途中の国ですので、今後いろいろな改善・改革が行われていき、いずれ日本人・外国人、当然当地フィリピン人が住みやすい国になると思っております。現に私が協力員になってからも、目で見て判る地域変化（効果）や個人消費の違いがわかります。

以上、簡単ではございますが今回の報告とさせていただきます。

REPORT 3

マニラの紹介

Manila



アンデス・アイオニクス(株)
副社長ゼネラルマネージャー
細川 進さん

フィリピン共和国労働省

既にご存知とは思いますが、昨年から今年に入り当地フィリ

八戸港の貿易概況報告 (2001年1月～3月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興会 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

<概況>

八戸港の1～3月輸出実績は魚介類、一般機械が好調に推移したが、フェロニッケル、有機化学品の大幅な減少により前年比16.2%減となった。

一方輸入では、とうもろこし、木材、ウッドパルプなどが好伸したことから前年比25.7%増と大幅な増加をみせた。

■1月～3月の貿易額 (単位：千円)

輸出

品名	単位	累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	3	3,533,500	100.0%	100.2%
フェロニッケル	MT	26,962	4,009,539	86.1%	73.4%
有機化学品	KG	500,120	339,395	96.8%	57.0%
紙 製 品	MT	1,446	141,259	66.8%	74.8%
一 般 機 械	MT	254	174,212	155.8%	122.8%
鉄鋼製品	MT	121	77,098	56.3%	55.5%
飼 料	MT	290	16,852	36.3%	41.3%
魚 介 類	MT	1,725	277,995	357.1%	382.4%
亜鉛塊	MT	2,186	258,401	151.1%	146.8%
そ の 他			461,563		62.0%
計			9,289,814		83.8%

輸入

品名	単位	累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	214,749	3,257,035	88.9%	92.4%
とうもろこし	MT	184,041	2,624,534	98.5%	116.9%
ニッケル鉱	MT	548,588	2,583,305	92.2%	100.6%
木 材	CM	45,342	1,118,033	102.5%	110.4%
亜鉛塊	MT	30,074	846,026	83.6%	81.8%
大豆粕	MT	47,868	1,445,732	150.2%	189.8%
魚 介 類	MT	1,518	621,892	106.5%	90.9%
飼 料	MT	20,965	597,002	49.0%	78.7%
石 炭	MT	155,797	667,135	84.6%	100.2%
こうりゃん	MT	42,950	621,606	74.6%	90.7%
ウッドパルプ	MT	5,481	405,701	647.9%	994.2%
カオリン	MT	35,473	698,696	109.2%	112.8%
肥 料	MT	8,413	166,778	479.1%	498.3%
重 油 等	KL	22,173	499,103	113.4%	124.8%
コークス等	MT	9,564	104,508	52.6%	65.4%
鉛 鉱	MT	0	0	全減	全減
金属製品	MT	339	75,775	77.4%	56.2%
その他穀物	MT	9,145	149,621	92.1%	122.8%
糖 蜜	MT	2,946	26,508	全増	全増
そ の 他			11,510,221		173.2%
計			28,019,211		125.7%

●コンテナ貨物取扱分実績 (前年比)

輸 出	38億7915万円 (67.3%)
輸 入	30億7464万円 (109.6%)
合 計	69億5379万円 (81.3%)

●コンテナ貨物通関本数

3,884TEU (前年比111.9%)

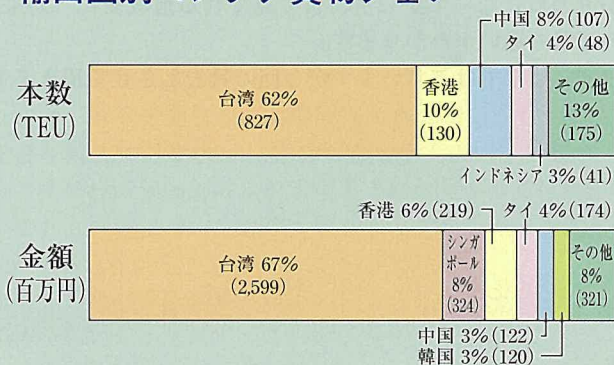
内訳 (輸出1,328TEU/輸入2,556TEU)

東南アジア航路	2,019 (出1,117 入1,902)
韓国航路	1,502 (出1,174 入1,328)
北米航路	247 (出 0 入 247)
他港別送分	116 (出 37 入 79)



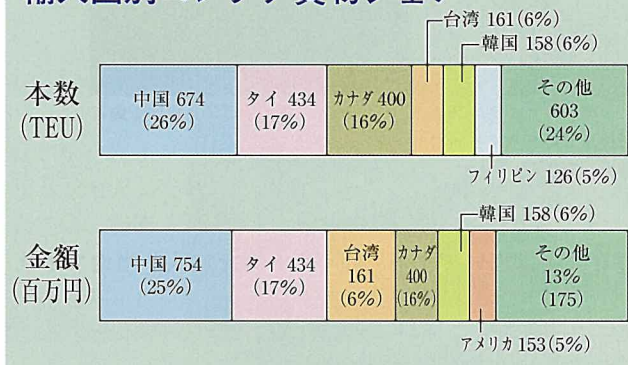
輸出国別コンテナ貨物シェア

<01年1-3月>



輸入国別コンテナ貨物シェア

<01年1-3月>



資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋



輸入住宅・部材カタログを新規入荷

「輸入フローリング材を新築住宅に使いたい」というお客様のリクエスト！
最近HIHAで入手したカタログや資料をご紹介します。

- ★『Bruce』フローリング材カタログ
(有)スズキアーキテツ：TEL 0173-23-1010 www.jomon.ne.jp/~marty
- ★『PRICE LIST 10』丸紅建材(株) www.mkenzai.co.jp
色川木材(株)：TEL 0178-27-2513
- ★『輸入部材カタログ2001』ハウジング山地(株)
同社東北支店：TEL 0178-72-1955



輸入住宅セミナーを開催 (01年1月24日：JETRO青森とHIHAが主催)

「輸入住宅のインテリアコーディネート」 インテリア&カラーコンサルタント 中川 真理 氏
「輸入住宅と品質確保促進法」 東急ホーム(株) 技術管理部長代理 三瓶 徳孝 氏 www.tokyu-home.co.jp

(地域公団) 八戸ニュータウンで定期借地分譲を開始

TEL 0120-828-606 (八戸都市開発事務所)
www.region.go.jp/city/town/hachinohe

タウンセンターや青森厚生年金休暇センターが立地して、今年5月末現在、1,246世帯、3,807人が暮らす街に成長した八戸ニュータウンで、定期借地制度による分譲が開始されました(地方都市では全国初!)。輸入住宅に関心が特に高い若年層を中心に分譲促進が期待されます。

(青森県住宅供給公社) 八戸ポートヴィレッジ

TEL 017-723-1627
www2.odn.ne.jp/aojuko

99年秋の分譲開始から1年半。輸入住宅の街並みを見せ始めました。八戸市南部にある閑静な輸入住宅街は好評分譲中です。

米国キャストードコンポーネンツ社が八戸進出

建材輸出企業である同社(本社：ワシントン州)は今年4月から八戸に進出。北東北のユーザー拡大に取り組んでいます。米国本社に自社倉庫を完備し、商品紹介、見積もり、受発注、検品、コンテナ・ローディング、輸出書類の作成に至るまで一貫したきめ細やかなサービスが特徴です。詳しくは八戸事業所：TEL 0178-72-1509 上野(うえの)氏まで。



HIHA: 八戸輸入住宅促進協議会

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内
Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503

www.hiha.jp

上記のカタログ・資料をご希望の方はHIHA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

HIHA会員

南部木材(株) 八戸市 ☎0178-45-4331	丸喜(株)齋藤組 青森市 ☎017-777-3329	駒井建設(株) 青森市 ☎017-741-5167	株東北産業 五戸町 ☎0178-61-1100
社陵ハウス工業(株) 八戸市 ☎0178-44-9633	(株)黄金工務店 青森市 ☎017-741-8451	(株)鎌田建設工業 青森市 ☎017-741-2063	(株)ハシモトホーム 八戸市 ☎0178-71-1700
(株)エコエイズ東北 八戸市 ☎0178-72-1513	アテヒ設計建設(株) むつ市 ☎0175-23-5511	(株)テーオー小笠原 青森市 ☎017-736-2000	カナディアンホームズ(有) 十和田市 ☎0176-21-1570
(有)ウッドベッカー 八戸市 ☎0178-46-4606	色川木材(株) 八戸市 ☎0178-27-2513	(有)スズキアーキテツ 鶴田町 ☎0173-23-1010	ビルド・コンパス(株) 八戸市 ☎0178-71-3037
(株)トーリン むつ市 ☎0175-22-6333	三上建設(株) 青森市 ☎017-723-2771	(有)シーユーハウジング 八戸市 ☎0178-47-3993	(有)山広産業 住宅部 八戸市 ☎0178-27-6570

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL OOCL	八戸通運 八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 韓国(釜山)、台湾(基隆、高雄)、香港、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、欧州、北米、豪州、他
	韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	横浜港コンテナライン(株)	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) OOCL: Orient Overseas Container Line (Hong Kong) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	2
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連	9	8
青島	9	8
上海	9	7
天津	9	6
廈門	10	8
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	16	16
バンコク(タイ)	20	17
レムチャパン(タイ)	15	18
マニラ(フィリピン)	11	14
ホーチミン(ベトナム)	17	16
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	37
ルアーブル(フランス)	30	38
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

八戸通運株式会社(海運部海運営業所)の紹介

所在地: 039-1161 八戸市河原木字海岸36-11
TEL(0178)29-0202 FAX(0178)20-3281

八戸港に就航している東南アジア航路(PIL社)および内航フィーダー航路(横浜コンテナライン(株))の代理店である八戸通運(株)海運営業所は、通関、検査の申請、作業の代行、コンテナ詰(出)、倉庫保管、梱包、輸送と内航船による内外貨の輸送を主な業務としています。

同営業所は、運送業者としての歴史と伝統を生かし、鉄道あるいは小口貨物を含む海陸一貫の輸送体制を整えるとともに、近年は大型精密機械を輸出するための「パリア梱包」技術を確立、八戸港国際物流ターミナル内に14t対応の天井クレーンを設置して新たなニーズに対応できる体制を整えています。



編集後記

創刊号は如何でしたでしょうか。「Port of Hachinohe」は年4回の発行で、八戸港の話題や貿易ビジネス情報などを掲載していきます。

本誌でも取り上げましたが、夏には「海の祭典」が開催されます。八戸港国際物流拠点化推進協議会ならびに(株)八戸港貿易センターでは「海の祭典」に八戸港PRブースを出展する予定です。詳しくは八戸市のホームページ www.city.hachinohe.aomori.jp をご覧ください(近日掲載予定)。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市建設部港湾河川課内

TEL:0178-43-2111(代表) FAX:0178-24-6186 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp

www.hptc.co.jp